

## 第2学年「ハッピータイム」コミュニケーション基礎 特集

2年生では、「ハッピータイム」という時間を総合学習で行っています。

今回は、コミュニケーションの基礎となる「なんでもキャッチ」についてのプランを紹介します。

### 【ねらい】

コミュニケーションの基本は、お互いが相手をしっかりと受けとめるということからはじまります。言葉は目に見えませんが、「じゃんけん」や「ボール」を言葉に見立て、じゃんけんをしたりボールを投げたりすることで、コミュニケーションの疑似体験を行います。じゃんけんやボールを使ってコミュニケーションを可視化するのは、言葉を投げかけたり、受けとめたりするうえでの大切な事に気づいていきます。

### 【概要】

『あとだしじゃんけん』では、勝つことには慣れていますが、負けることには無意識の抵抗があるために間違ってしまう。相手の手をしっかりと見るということが大切になってきます。ボールを投げる人が「～さん」と名前を呼び、名前を呼ばれた人は「はい」と答えます。そしてはじめてボールを投げることができます。はじめは乱暴に投げていた生徒も、うまく受け取ってもらうにはどうしたらよいか気づきはじめます。

なかなか全員にまわらないボールも、失敗を重ねて最後まで到達できたときには、生徒たちから歓声があがっていました。

# コミュニケーション クラスみんなで「何でもキャッチ」

あとだしじゃんけん



いつもと違うじゃんけんは難しい  
でも  
訓練さえすればできるようになる  
すぐにできるようにならなくても  
新しく気づくことが大切なのだ！

クラスみんなで何でもキャッチ！

### ルール

1. 投げる相手の名前を呼ぶ
2. 呼ばれた相手は返事をする
3. 返事を聞いてからボールを投げる
4. 投げられた相手はボールをつかむ





**言葉のキャッチボール = コミュニケーション**  
**相手が受けやすい言葉のボールを投げよう!**



**ボールは言葉と同じ!**

つよく投げたら?

ボールが取れない!

嫌な思いをする

自分の思いを伝えるには・・・

✚ **目を見て**

✚ **わかりやすい言葉で**

✚ **受け取る方もしっかり**

・相手の名前呼んですぐなげるんじゃなくて、少し間をあけてからなげたりとか  
 思いやりが大切だなと思った。

・気持ちが焦ってしまって相手の返事を聞く前に投げてしまったからしっかり相  
 手の返事を聞いたりすることが会話の中でも大事だということ

・あまり喋ったことのない人の名前を呼べてよかった。

・大きな声でハキハキ話さないと聞こえない。相手に聞こえないと意味がない。

・ハッピータイムは生活班で行動することが多いけど今回は、クラス全員で、で  
 きたのでとても楽しかったです。

**言葉のキャッチボール = コミュニケーション**

**相手が受けやすい言葉のボールを投げよう!**



・ 投げる時相手が返事をしていない時は相手の子も準備をしていま  
 せんでした。そういうところが普段の生活にもでると思いました。

・ しっかり見ているけど負けてと言われたときに勝ってしまって難し  
 いと思いました。

・ 後出しは簡単だと思ったけど意外と考えないといけないんだと思  
 いました。

・ 自分が落としたりどうしようという気持ちがあったけど、皆が協力  
 しているのを見て、どうしたらいいのかという考えになっていた。